

## TIATのインナーブランディングプロジェクトが 「iFデザインアワード2018」を受賞

～2年連続受賞。世界三大デザイン賞は4つめの快挙！～



羽田空港国際線旅客ターミナルは、インナーブランディング・プロジェクト「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーションについて、世界三大デザイン賞のひとつで、国際的に権威のあるドイツの国際デザイン賞「iFデザインアワード2018」を2年連続で受賞しました。今回受賞いたしましたのは、昨年同様「コミュニケーション部門」の「Branding activity Communication - Typography / Signage」分野での受賞となります。

iFデザインアワードは、65年にわたり国際的に権威のあるデザインアワードのひとつとして、またiFロゴは優れたデザインの証として広く認知され、ドイツ「レッド・ドット・アワード」、アメリカ「インターナショナル・デザイン・エクセレント賞」と並び、世界三大デザイン賞のひとつとされています。

この賞は全世界の優れたデザインの美しさや機能性のみならず、革新性などを厳正な審査基準に基づき受賞者を選定するデザイン賞で、2018年は過去最高の54か国から6402点の応募があり、1218点が受賞しました。

昨年と同じ、「WE ARE TOKYO」の空間コミュニケーション部門で「レッド・ドット・アワード」を2年連続で受賞したため、今回の受賞で、世界三大アワード2冠を2年連続で達成し、世界三大デザイン賞受賞は通算4度目の快挙です。

このブランディングプロジェクト「WE ARE TOKYO」は、羽田空港が目指すブランドの姿をターミナル従業員に浸透させるためのエンゲージメントの取り組みです。2020年に向けて、海外からのお客様をお迎えする日本を代表する空港になることを目指し、ターミナルで働く全ての従業員が誇りを持って働けるよう、2015年にブランドコンセプトおよびブランドメッセージを策定しました。今年の2月には、国際線ターミナル4階の広小路や5階展望デッキ出入口、また5階SKYROADでも空間コミュニケーションのエンゲージメント活動の一端を一般公開しております。今後も羽田空港ブランドの理解・浸透を通して、空港全体の一体感の醸成、コミュニケーションの活性化を図っています。



トレーディングカード風の従業員カタログ（168種類）



5階SKYROADなどで従業員カタログを紹介